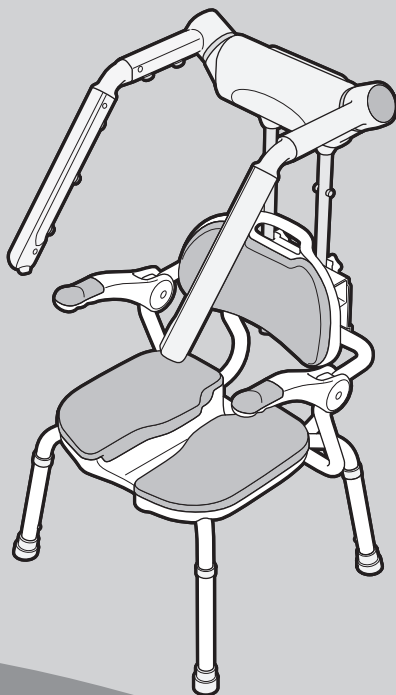


安^{あんじゅ}寿

温浴シャワーイスHP

取扱説明書

※必ずシャワーを
適温にしてから
ご使用ください。



SIAA
防カビ加工

最大使用者体重：100kg

ご使用前にこの取扱説明書と保証書をお読みください。

このたびは本製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
快適な入浴をお楽しみください。

- 正しくお使いいただくため、ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 取扱説明書を読んだあとは必ず保管してください。



ARONKASEI CO.,LTD.

保存版
(保証書付)

もくじ

確認しましょう



確認しましょう
P. 2～3

- ・梱包品の確認…………… 2
- ・各部の名称…………… 2
- ・商品の寸法図と仕様…………… 3

安全上のご注意



安全上のご注意
P. 4～7

ご使用の前に



ご使用の前に
P. 8～12

- ・座面・背もたれのソフトパッドを取り付けましょう … 8
- ・座面の高さを調節しましょう…………… 8
- ・水栓にカチットジョイントを取り付けましょう…………… 9～10
- ・シャワーイスに
温浴ユニットを取り付けましょう… 10～11
- ・ご使用になる前に確認しましょう(点検) … 11～12

使いましょう



使いましょう
P. 13～17

- ・温浴ユニットの高さを調節しましょう…………… 13
- ・シャワーで体を洗いましょう…………… 13
- ・ひじ掛けの使いかた…………… 14
- ・U字溝の使いかた…………… 14
- ・温浴ユニットに
シャワーホースをつなぎましょう…………… 15
- ・シャワーアームから
シャワーを出して温浴しましょう… 15～17
- ・こんな使いかたができます…………… 17

お手入れしましょう



お手入れしましょう
P. 18～24

- ・お掃除しましょう…………… 18～19
- ・ソフトパッドを取り外しましょう…………… 19
- ・カビの発生予防のしかた…………… 20
- ・座面と背もたれのプラスチック部に
水が入った場合の、水抜きのみかた…………… 20
- ・保管のしかた…………… 20～21
- ・点検のしかた…………… 22
- ・交換部品…………… 23～24

困ったときには



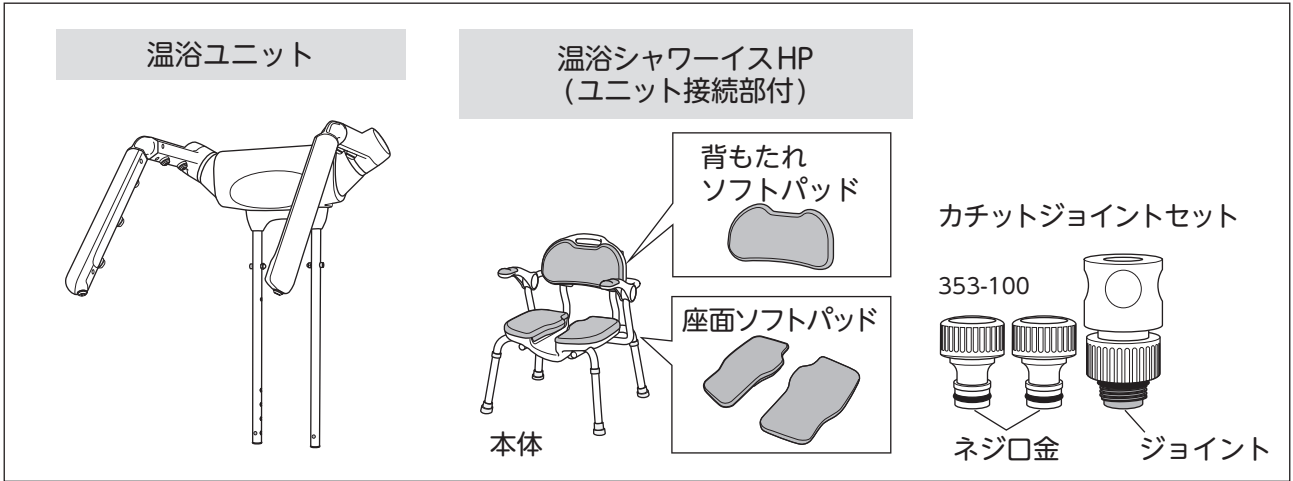
困ったときには
P. 25～27

- ・保証とアフターサービス…………… 25～27

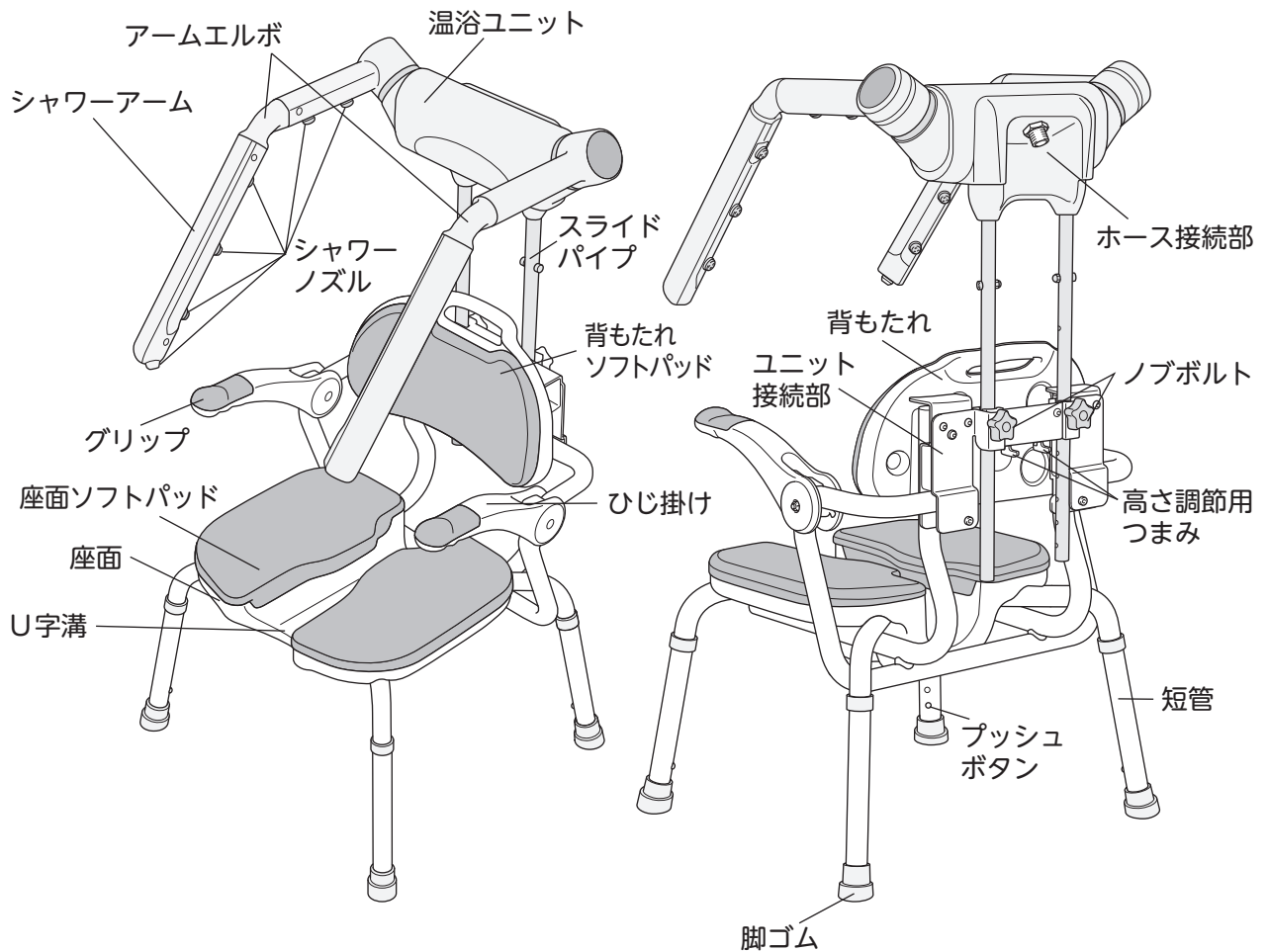
👉 確認しましょう

梱包品の確認

梱包品が揃っているか、下のイラストを見ながら確認しましょう。



各部の名称



👉 確認しましょう

⚠️ 安全上の注意

✖️ ご使用の前に

👉 使いましょう

👉 お手入れしましょう

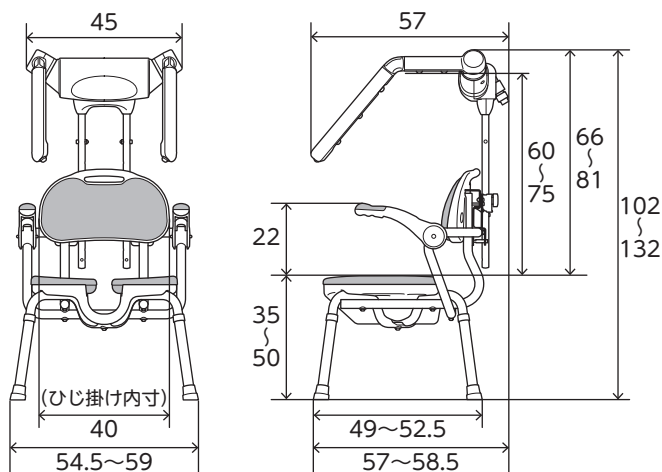
❓ 困ったときには

👉 確認しましょう

商品の寸法図と仕様

商品寸法図

単位：cm



仕様

品名		温浴シャワーイスHP	
		部品名	材質
構成部材	温浴ユニット	本体・シャワーアーム	ポリプロピレン
		シャワーノズル	ポリアセタール
		アームエルボ	エラストマー
		内部配管	塩化ビニル樹脂
		スライドパイプ	アルミニウム
	ユニット接続部	本体	アルミニウム
		ノブボルト	ナイロン・ステンレス
		高さ調節用つまみ	ポリアセタール
	シャワーイス	座面・背もたれ	ポリエチレン
		ひじ掛け	ポリプロピレン
		グリップ	エラストマー (防カビ加工)
		座面ソフトパッド・背もたれソフトパッド	EVA樹脂 (防カビ加工)
		脚パイプ・短管	アルミニウム
		脚ゴム	合成ゴム (防カビ加工)
プッシュボタン用バネ		ステンレス	
金属部品	ネジ・ワッシャー等	ステンレス・アルミニウム・黄銅	
サイズ	全高 (シャワーイス含む)	幅54.5～59×奥行57～58.5×高さ102～132cm	
	温浴ユニット高さ	座面から66～81cm 3cmピッチ6段階	
	シャワーイス座面高さ	35～50cm 2.5cmピッチ7段階	
商品重量		約7kg	
最大使用者体重		100kg	

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。



SIAA 防カビ剤ポジティブリスト
第 JP0501016A0001P 号使用
防カビ加工部位：
グリップ、座面ソフトパッド
背もたれソフトパッド、脚ゴム
防カビ加工方法：練りこみ

⚠️ 注意事項

- ・防カビ試験は、SIAA 指定法にて実施しています。
- ・防カビ加工は、カビを死滅させるものではありません。
- ・使用条件によってはカビが発生する場合があります。
- ・SIAA の安全性基準に適合しています。

！ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

持ち運ぶ場合は足元に十分注意すること

シャワーイスに温浴ユニットを取り付けたまま持ち運ぶ場合は、視界が悪く転倒によるけがの原因になります。

持ち運ぶ場合はシャワーイスの脚に引っ掛からないように注意すること

転倒してけがをする原因になります。

持ち運ぶ場合は温浴ユニットを最低の高さまで下げる

シャワーイスに湯浴ユニットを取り付けたまま持ち運ぶ場合、ユニットの位置が高いと、製品の重さでバランスを崩して転倒しけがをしたり製品を落として破損の原因になります。

持ち運ぶ場合はシャワーホースを外して移動すること

製品に無理な力がかかり破損の原因になります。

使用前にガタつきがないか、下記の点を確認すること

詳しくは P.22 へ



4本の脚部がすべて同じ高さになっている

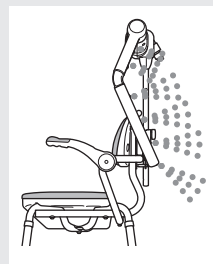
プッシュボタンが完全に飛びだして固定されている

シャワーアームを下ろして湯温を確認する際は、介助者もお湯がかからないように注意すること

熱湯を浴びてやけどしたり、冷水によるショックの原因となります。

シャワー温浴の前にシャワーアームを下ろした状態でお湯を出して温度を確認してから浴びること

熱湯を浴びてやけどしたり、冷水によるショックの原因になります。



シャワーイスの脚下や周囲にシャワーホースがないか確認すること

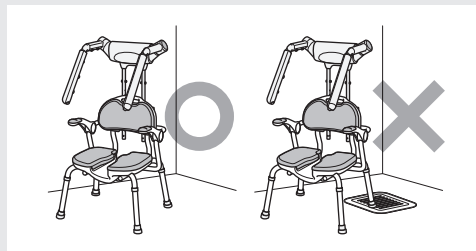
設置が不安定になったり、足が引っ掛かったりしてけがの原因になります。

水栓から少し離して設置すること

不意にホースが引っ掛かって水栓からお湯や水が出るとやけどやショックの原因になります。

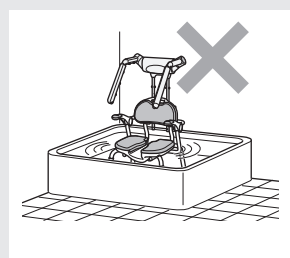
平坦で安定した場所に置くこと

やわらかいマットやすのこ、排水溝といった段差の上で使用すると設置が不安定となり、けがの原因になります。



浴槽の外の、水はけが良い場所に置くこと

パイプが腐食により破損したり、設置が不安定となり、けがの原因になります。



床やシャワーイスに、石鹸やシャンプーなどがついていないことを確認すること

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

！安全上のご注意



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘

温浴ユニットのシャワーアームを手すり代わりに掴んで使用しないこと

製品が破損したり転倒やけがの原因になります。

温浴ユニットの本体やシャワーアームに体重をかけないこと

製品が破損したり転倒やけがの原因になります。

温浴ユニットにもたれかからないこと

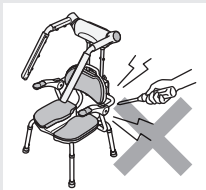
製品が破損したり後方に転倒し、けがの原因になります。

長時間温浴しすぎないこと

体調不良や低温やけどの原因になります。
※利用する方の体調に合わせて、5～10分を目安に温浴してください。

改造や分解をしないこと

本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。



体重が100kgを超える方は使用しないこと

本体が破損するなどし、けがの原因になります。



浴室で使用する為の「入浴いす」以外の用途で使用しないこと

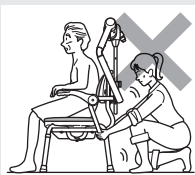
- ・踏み台代わりにする
- ・子どもを遊ばせる
- ・手すり代わりにする

など、入浴いす以外の用途で使用すると、転倒し、けがの原因になります。



人が座っている状態で、本体を持って移動させたり、ひきずったりしないこと

本体が破損したり、転倒やけがの原因になります。



温浴ユニットにつながったシャワーホースを引っ張らないこと

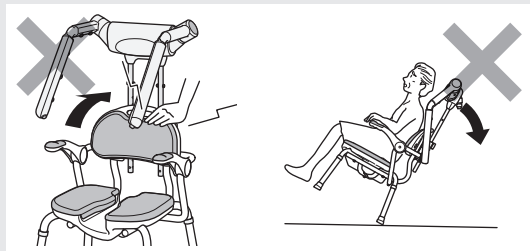
製品に無理な力がかかり破損の原因になります。

シャワーアームを上げたまま座面から立ち上がらないこと

製品の破損や転倒やけがの原因になります。

背もたれ部分に体重をかけないこと

- ・背もたれを支えにして立ち座りする
 - ・座った状態で上体を後方に大きくのけぞり、背もたれに体重をかける
- など、背もたれ部分に体重をかけると、製品が破損したり、転倒し、けがの原因になります。



片側のひじ掛けに手をつく場合、横方向に力をかけて支えたり、体重をかけすぎたりしないこと

転倒し、けがの原因になります。



座面のフチに手をついて支えにし、立ち座りや移乗をしないこと

製品が傾いたり、折りたたまれたり、手がすべって転倒し、けがの原因になります。



座面の中央以外に座らないこと

座面のフチに座る・背もたれに座る・ひじ掛けに座るなど、座面の中央以外に座ると、製品が破損したり、転倒し、けがの原因になります。

商品梱包用のポリ袋は幼児の手が届くところに置かないこと

幼児がかぶると窒息するおそれがあります。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用前に

♡使いましょ

💧お手入れしましょ

? 困ったときには



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

必ず行うこと

ノズルは定期的にお手入れすること

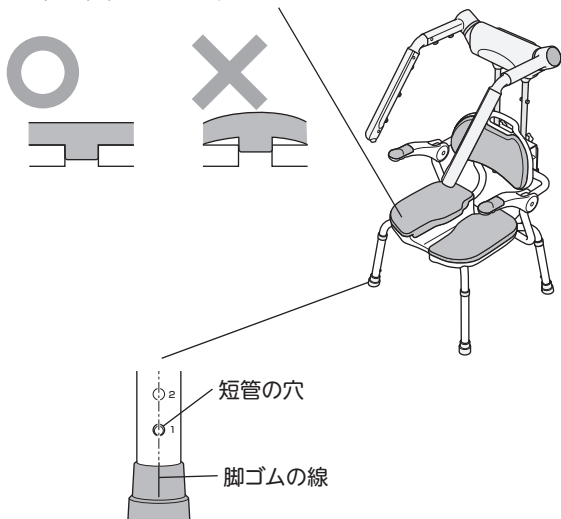
ノズルが詰まってシャワーの出が悪くなります。
※お手入れしても直らない場合はノズルの交換をお買い上げの販売店にご相談ください。

ノズルの交換方法は P.23 へ

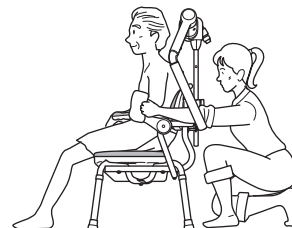
使用前にガタつきがないか、下記の点を確認すること

詳しくは P.22 へ

ソフトパッドがしっかりとハマっている



使用者の身体状況（座位保持や立ち座りが不安定）などによっては介助者が付き添うこと

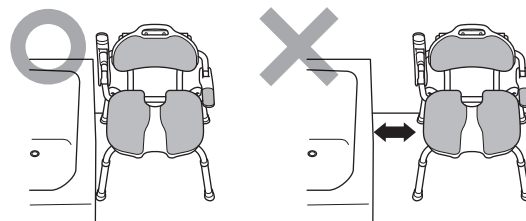


持ち運びはシャワースイス本体を持つこと

温浴ユニットを持つと、製品に無理な力がかかり、破損の原因になります。

浴槽への移乗に使用する場合、シャワースイスはできるだけ浴槽のフチと座面の高さを合わせ、浴槽へ接するように横付けすること

座面中央に溝があるので、おしりや足がはまらないよう気をつけてください。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

！ 安全上のご注意



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘

持ち運ぶ場合は周囲にぶつけないこと

製品の破損や壁やドアなどを傷つける原因になります。

熱湯や高温のお湯をかけないこと

製品の劣化や変形、破損の原因になります。

水とお湯の切り替えを行うときは、止水してホース内の温度が安定するまで待ち、急な切り替えを行わないこと

製品の劣化や変形、破損の原因になります。

高温や高圧のお湯で使用しないこと

製品の劣化や変形、破損の原因になります。

シャワーアームを上げすぎたり下げすぎたりしないこと

製品の破損の原因になります。

シャワーアームを無理に広げないこと

製品の破損の原因になります。

ドアの近くに立てかけたり収納しないこと

ドアの開閉時にぶつかって、製品やドアの破損の原因になります。

サウナで使用しないこと

製品が破損したり、やけどの原因となります。

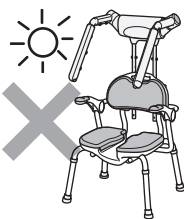
倒したり、衝撃や無理な力をかけないこと

製品の破損の原因になります。

● お手入れ・保管時の注意 以下の行為を行うと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

屋外に放置したり、直射日光に当てたりしないこと

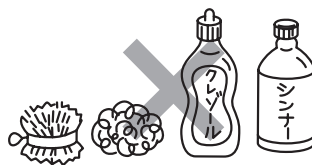
劣化および変色の原因となります。



次にあげるものではお手入れしないこと

- ・シンナー ・クレゾール
- ・酸、アルカリ性洗剤
- ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
- ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの

製品が劣化し、破損の原因になります。



温泉水、入浴剤をかけてのお手入れはしないこと

製品が劣化し、けがをする原因になります。

塩ビ製フロアマットの上に長期間放置しないこと

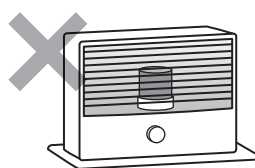
フロアマットや脚ゴムが劣化および変色するおそれがあります。

アルコール以外で消毒しないこと

劣化および変色の原因になります。

ストーブなどの火気に近づけないこと

火災や変形、変色の原因になります。



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用前に

♡使いましょう

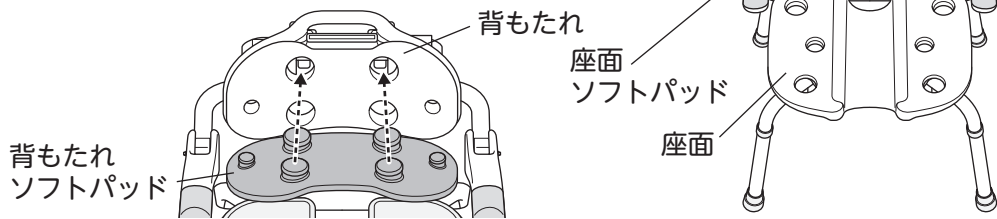
💧お手入れしましょう

？困ったときには

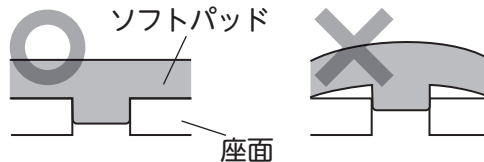
✳ ご使用の前に

座面・背もたれのソフトパッドを取り付けましょう

1. ソフトパッド裏面の凸部をそれぞれ座面・背もたれの穴に合わせ、上からしっかり押さえて取り付けます



2. ソフトパッドがしっかり固定されているか確認します



座面の高さを調節しましょう

高さの調節は、使う方の体格や入浴動作しやすいようお買い上げの販売店やケアマネジャーなどの専門家に相談することをおすすめします。

梱包時は高さ表示の穴番号は1（座面高さ 35cm）に設定されています。座面の高さは7段階で調節。（2.5cmピッチ）
右図を参照してください。

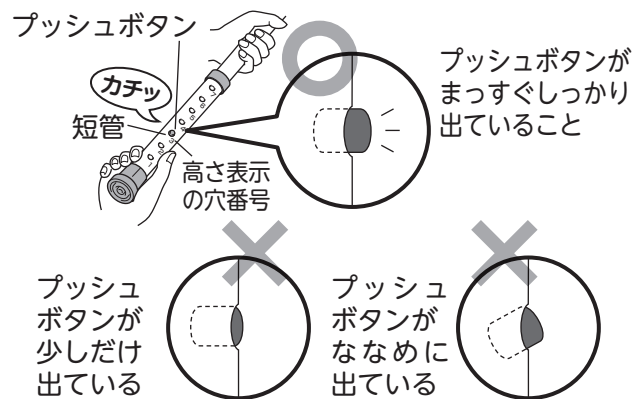


高さ表示の穴番号と座面の高さ
（高さ調節の目安にしてください）

穴番号	座面の高さ
7	50cm
6	47.5cm
5	45cm
4	42.5cm
3	40cm
2	37.5cm
1	35cm

高さ調節のしかた

調節は、脚部にあるプッシュボタンを押しながら短管を上下に動かし、設定したい高さの穴に合わせてください。プッシュボタンが短管の穴から確実に飛び出せばセット完了です。



警告



4本の脚部はすべて同じ高さに設定すること

高さ調節用のプッシュボタンが完全に飛び出して固定されているか必ず確認すること
本体が不安定となり、転倒し、けがの原因になります。

※長期間使用していると、高さ調節用のプッシュボタンのまわりに石鹸カスなどが付着し動かなくなる場合がありますので、定期的に汚れを落とし、プッシュボタンが作動するか確認してください。

確認しましょう

！安全上の注意

✳ご使用の前に

使いましょ

お手入れしましょ

? 困ったときには

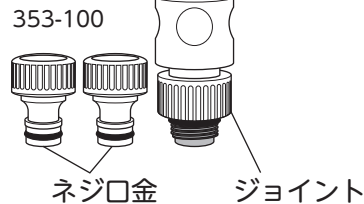
✳ ご使用の前に

水栓にカチットジョイントを取り付けましょう

1. 水栓のシャワーホースからシャワーヘッドを取り外します

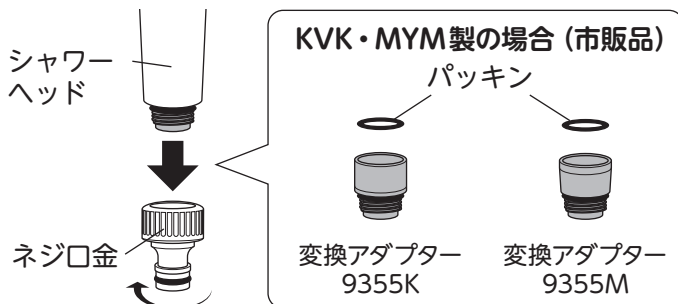


カチットジョイントセット



2. シャワーヘッドにネジ口金を取り付けます

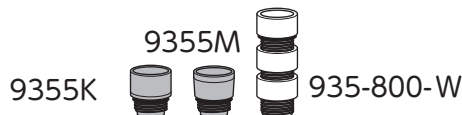
※お使いのハンドシャワーがKVK、MYM製の場合、変換アダプター (KVK製：9355K、MYM製：9355M) をホームセンターなどでご購入ください。



シャワーヘッドメーカー	取付ネジサイズ	変換アダプター (シャワーヘッド側)	変換アダプター (シャワーホース側)
TOTO	G1/2	変換アダプター不要	
INAX (LIXIL) (バランス釜以外)			
SANEI			
カクダイ			
KVK	M22 × 2	9355K (市販品)	935-800-W(9358K) (市販品)
MYM	W23 山 14	9355M (市販品)	935-800-W(9358M) (市販品)

※シャワーヘッドが取り外せないタイプや、海外製やその他のメーカーのシャワーにはつかない場合があります。

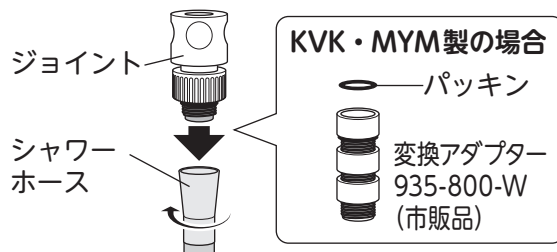
変換アダプター (市販品)



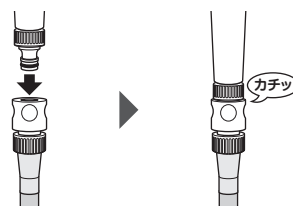
3. シャワーホースにジョイントを取り付けます

※KVK、MYM製のシャワーホースを使用する場合は、変換アダプター (935-800-W) をジョイントに取り付けてから、シャワーホースに取り付けてください。

※変換アダプター (935-800-W) はホームセンターなどでご購入ください。



4. 3のシャワーホースに、2のシャワーヘッドをカチッと音がするまで差し込みます



確認しましょう

安全上の注意

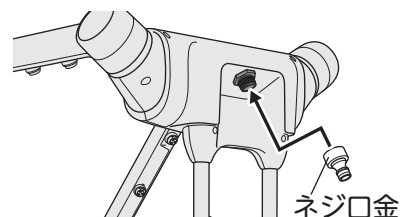
ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

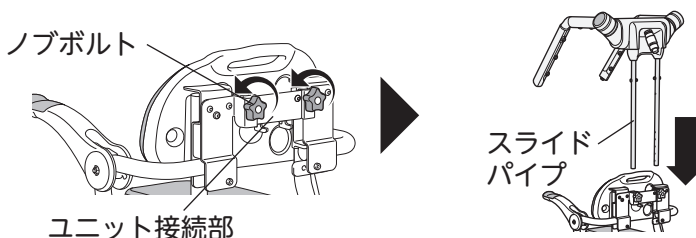
5. 温浴ユニットの背面のホース接続部にネジ口金を取り付けます



確認しましょう

シャワースイスに温浴ユニットを取り付けましょう

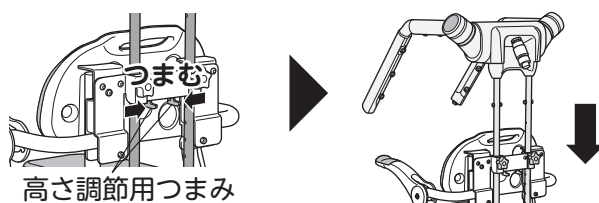
1. シャワースイスのユニット接続部のノブボルトをゆるめ、温浴ユニットのスライドパイプを上から挿入します



安全上のご注意

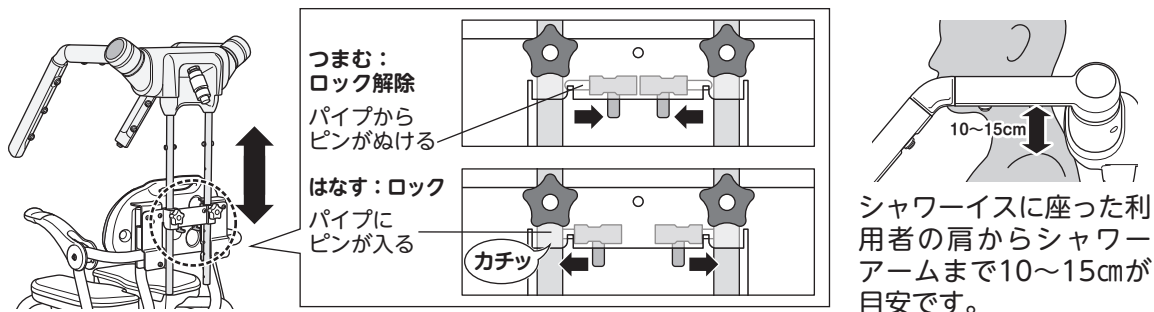
ご使用の前に

2. 温浴ユニットを支えながら、高さ調節用つまみを内向きにつまみ、温浴ユニットを下げます



使いましょう

3. 温浴ユニットの高さを調節し、高さ調節用つまみをはなしてパイプの穴にカチッと入るのを確認します



お手入れしましょう

困ったときには

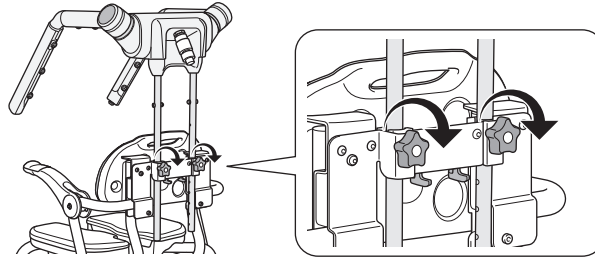
注意



両方の高さ調節用つまみの間隔が元の位置に戻っているのを確認すること
戻っていない場合は、温浴ユニットを上下させてカチッと入るのを確認してください。

✖ ご使用の前に

4. ノブボルト2本を右に回してしめ、スライドパイプが固定されているか確認してください



ご使用になる前に確認しましょう(点検)

警告



使用前に温浴ユニットにガタつきがないか、高さ調節用つまみの間隔が元の位置に戻っているか、その他各部に異常がないか点検すること

本体が不安定になり、けがの原因になります。製品に異常がある場合は、ただちに使用をやめ、お買い上げの販売店や、弊社お客様相談室 (TEL:0120-86-7735) までご相談ください。

警告



温浴ユニットのシャワーアームを手すり代わりにつかんで使用しないこと

製品が破損したり、転倒やけがの原因となります。

温浴ユニットの本体や、シャワーアームに体重をかけないこと

製品が破損したり、転倒やけがの原因となります。

片側のひじ掛けに手をつく場合、横方向に力をかけたり体重をかけすぎないこと

転倒による製品の破損や、けがの原因となります。

警告



使用前にシャワーイスにガタつきがないか、各部に異常がないか点検すること

本体が不安定になり、けがの原因になります。

製品に異常がある場合は、ただちに使用をやめ、お買い上げの販売店や、弊社お客様相談室 (TEL:0120-86-7735) までご相談ください。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

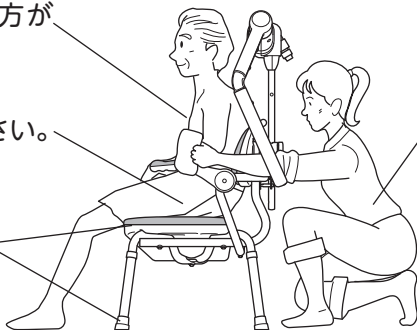
お手入れしましょう

困ったときには

体重が100kg以下の方が
使用してください。

座面の中央に座ってください。

石鹸などがついていない
ことを確認してください。

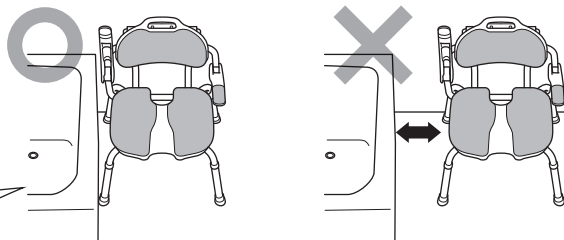


使用者の身体状況（座位保持や立ち
座りが不安定）などによっては助助
者が付き添ってください。

浴槽への移乗に使用する場合

シャワーイスはできるだけ、浴槽のフチと座面の高さ
を合わせ、浴槽へ接するように横付けしてください。

浴槽またぎ時におしりを浮かさずに移乗できます。



※座面中央に溝があるので、おしりや足が
はまらないよう気をつけてください。

警告



下記のような使いかたをしないこと

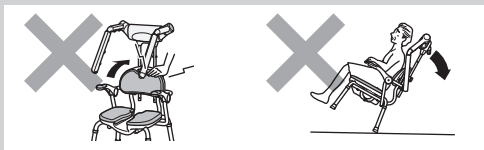
転倒やけがの原因になります。

片側のひじ掛けに体重
をかけすぎないこと

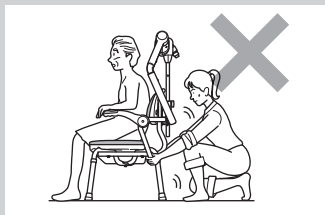


背もたれ部分に体重をかけないこと

- ・背もたれを支援にして立ち座りしない
- ・座った状態で上体を後方に大きくのけぞり、背もたれに体重をかけない



人が座っている状態で本
体を引きずらないこと



← その他 P.4 ~ 7 もご確認の上、使用してください

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

使いまししょう

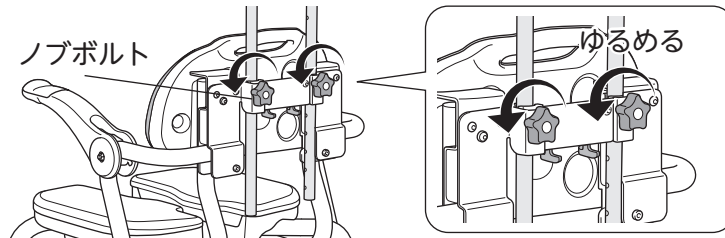
💧お手入れしまししょう

? 困ったときには

♡ 使いましょう

温浴ユニットの高さを調節しましょう

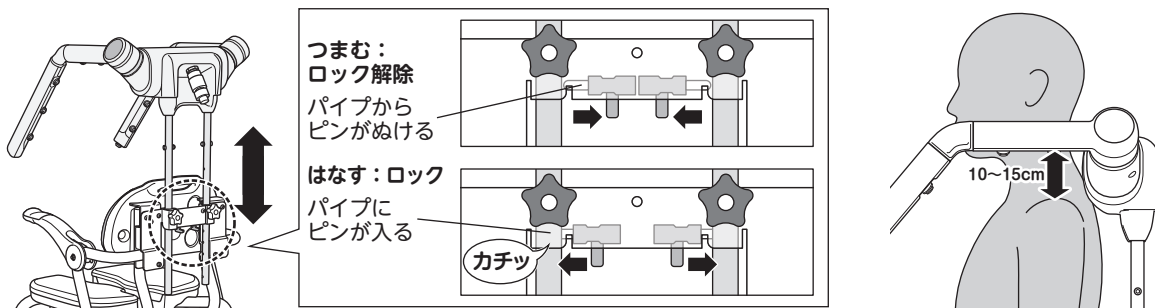
1. ノブボルト2本を左に回してゆるめます



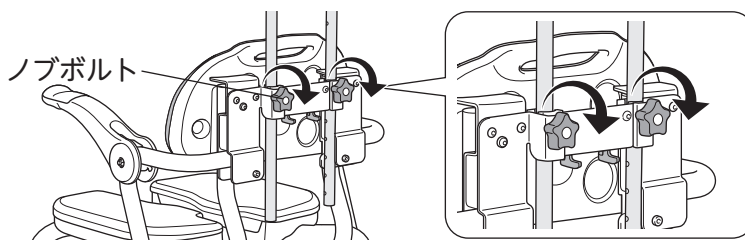
2. 温浴ユニットを支えながら高さ調節用つまみをつまみ、温浴ユニットを上下に動かして調節します

シャワーイスに座った利用者の肩からシャワーアームまで10~15cmが目安です。

3. つまみをはなして高さ調節用つまみのピンがスライドパイプの穴にカチッと入るのを確認します



4. ノブボルト2本を右に回してしめ、スライドパイプを固定します



シャワーで体を洗いましょう

シャワーイスに座り、水栓のシャワーヘッドで体を洗います。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

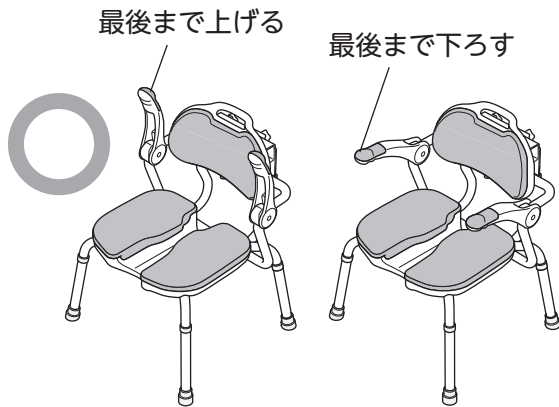
使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

ひじ掛けの使いかた

本体左右のひじ掛けは、必要に応じて上げ下げできます。
使用するときは、ひじ掛けを最後まで上げる、または最後まで下ろして使用してください。

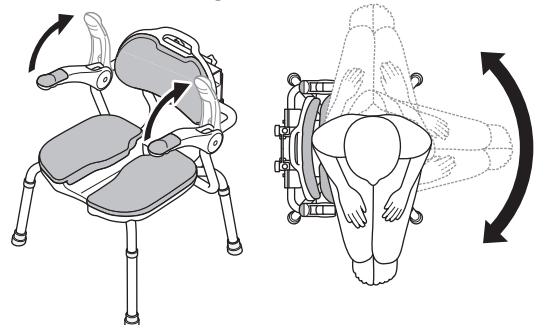


ひじ掛けを下ろした状態

立ち座りのときに身体を支える補助として使用したり、
着座した状態で身体を安定させたいときに使用します。

ひじ掛けを上げた状態

ひじ掛けを上げることで、座ったまま身体の向きを変
えることができます。狭いスペースでの移動をスム
ーズにおこなったり、座った状態で浴槽へ移乗する
ときに便利です。



※座面中央に溝があるので、おしりや足が
はまらないよう気をつけてください。

警告



片側のひじ掛けに手をつく場合、横方向に力をかけて支えたり、
体重をかけすぎたりしないこと

転倒し、けがの原因となります。

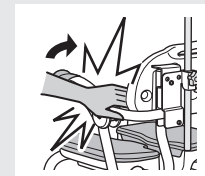


注意



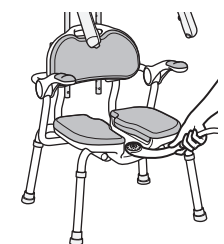
ひじ掛けを上げ下げするときに、手や指を挟まないよう十分
注意すること

けがの原因となります。



U字溝の使いかた

座面中央のU字溝は、着座したままで使用者の局部を前後から洗浄する時に
使用します。立位姿勢の保持に不安のある方や、膝関節症の方などに最適で
す。U字溝にはシャワーヘッドを差し込んで、洗うこともできます。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

♡ 使いましょう

確認しましょう

安全上の注意

使用前の注意

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

警告



水栓から少し離して設置すること

不意にホースが引っ掛かって水栓からお湯が出ると、やけどやショックの原因になります。

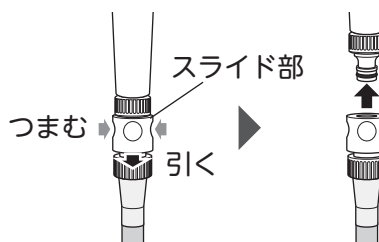
シャワースイスの脚下や周囲にシャワーホースがないか確認すること

設置が不安定になったり、足が引っ掛かったりしてけがの原因になります。

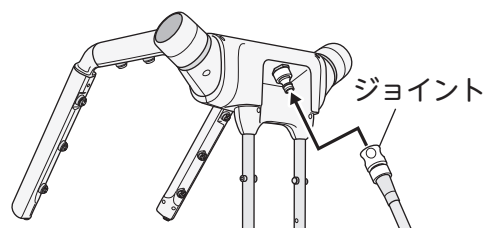
温浴ユニットにシャワーホースをつなぎましょう

1. 水栓が閉じているのを確認し、シャワーヘッドとホースを外します

ジョイントのスライド部をつまみ、矢印の方向に引くと外れます。



2. 温浴ユニット背面のホース接続部にシャワーホースのジョイントを挿入してつなぎます

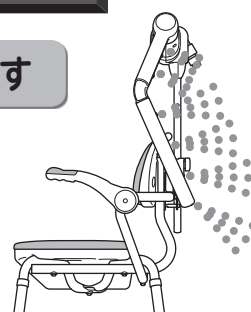


シャワーアームからシャワーを出して温浴しましょう

1. シャワーアームを下ろしたまま水栓を開いてシャワーを出します

冷たい水や高温のお湯が出ていないことを確認してください。

※最初に湯温を確認するときは、着座せず、直接冷水や熱水が身体にかからないようにして確認することをおすすめします。



警告



シャワーの前にシャワーアームを下ろした状態でお湯を出して温度を確認してから浴びること

熱湯を浴びてやけどしたり、冷水によるショックの原因になります。

シャワーアームを上げたまま、座面から立ち上がらないこと

製品が破損したり転倒やけがの原因になります。

座ったまま、温浴ユニットにもたれかからないこと

製品が破損したり、後方に転倒してけがの原因になります。

注意



水とお湯の切り替えを行うときは、止水してホース内の温度が安定するまで待ち、急な切り替えを行わないこと

製品の劣化や変形、破損の原因になります。

高温や高圧のお湯で使用しないこと

製品の劣化や変形、破損の原因になります。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

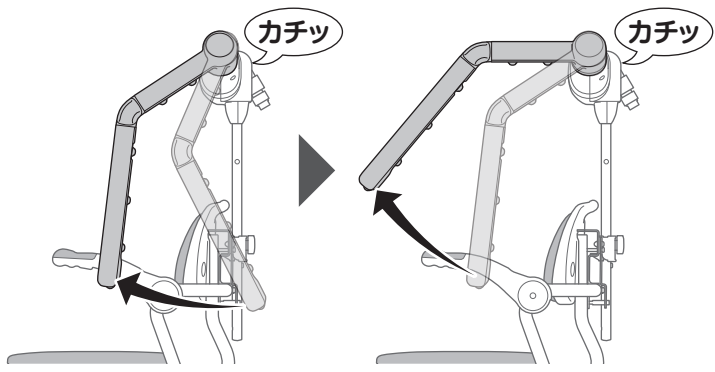
お手入れしましょう

困ったときには



2. 左右のシャワーアームを上げてシャワー温浴します

シャワーアームを上げると2回カチッカチッと音がしてから固定されます。



警告



長時間温浴しすぎないこと

体調不良や低温やけどの原因になります。

※利用する方の体調に合わせ、5～10分を目安に温浴してください。

注意



シャワーアームを上げすぎたり下げすぎたりしないこと

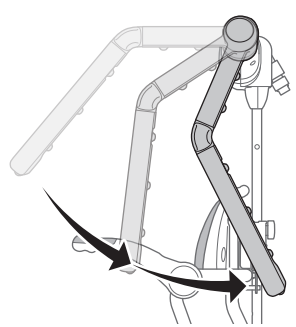
製品の劣化や変形、破損の原因になります。

シャワーアームを無理に広げないこと

製品の破損の原因になります。

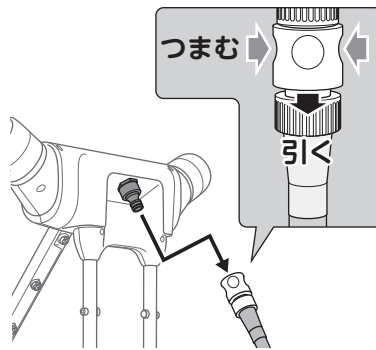
3. シャワーを浴び終わったら、水栓を閉じてシャワーを止めます

4. シャワーアームを下ろします



♡ 使いましょう

5. シャワーホースを外します



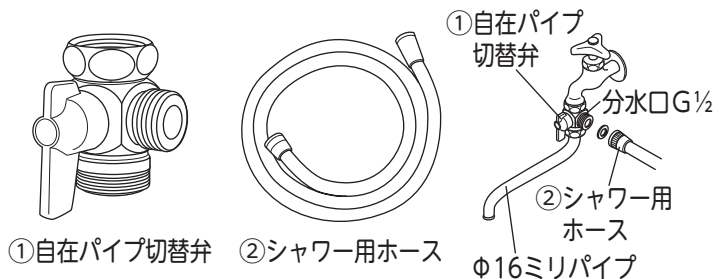
こんな使いかたができます

ご使用の給水蛇口にアダプターを接続し、給水蛇口と温浴ユニットを切り替えてご利用いただけます。

●ご購入が必要なもの

- ①カクダイ社製：自在パイプ切替弁（市販品）
製品番号：9083
- ②シャワー用ホース（市販品）

シャワー用ホースとの接続は、P. 9の「水栓にカチットジョイントを取り付けましょう」をご確認ください



警告



持ち運ぶ場合は足元に充分注意すること

シャワースイスに温浴ユニットを取り付けたまま持ち運ぶ場合は視界が悪く転倒によるけがの原因になります。

持ち運ぶ際は、シャワースイスの脚に自身の足や周囲のモノ（壁やドア、設備など）が引っ掛からないように注意すること

転倒してけがをする原因になります。

持ち運ぶ場合はバランスに注意すること

シャワースイスに温浴ユニットを取り付けたまま持ち運ぶ場合、製品の重さでバランスを崩して転倒しけがをしたり、製品を落として破損の原因になります。

持ち運ぶ場合はシャワーホースを外すこと

製品に無理な力がかかり、破損の原因になります。

温浴ユニットにつながったシャワーホースを引っ張らないこと

製品に無理な力がかかり、破損の原因になります。

注意



持ち運ぶ場合は、周囲にぶつけないこと

製品の破損や、壁やドアなどを傷つける原因になります。

持ち運びはシャワースイス本体を持つこと

温浴ユニットを持つと、製品に無理な力がかかり、破損の原因になります。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

🔴 お手入れしましょう

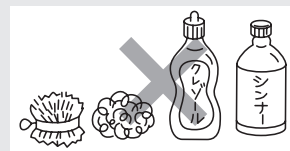
下記の手順に従ってこまめにお手入れしてください。

注意



次にあげるものではお手入れしないこと

- ・シンナー ・フrezール ・酸、アルカリ性洗剤
- ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
- ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの



劣化および破損の原因になります。

温泉水、入浴剤をかけてのお手入れはしないこと

製品が劣化し、けがの原因になります。

アルコール以外で消毒しないこと

製品が劣化し、けがの原因になります。

熱湯や高温のお湯をかけないこと

製品の劣化や変形、破損の原因になります。

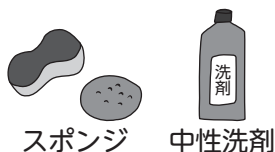
お掃除しましょう

温浴ユニット

石鹸カスや水あかで黒ずんでくることがあります。浴室用中性洗剤でこまめにお手入れしてください。充分なお手入れをしても、使用環境によりカビが発生する場合があります。

温浴ユニット（本体）・シャワーアーム

毎日の
お手入れ



スポンジ 中性洗剤

- ① やわらかいスポンジに浴室用中性洗剤をつけて汚れを拭き取ります。
- ② きれいな水で洗剤をしっかりと洗い流し、かげ干しか、乾いた布で乾拭きしてください。

スライドパイプ・ユニット接続部

週に
一度の
お掃除



スポンジ 歯ブラシ 中性洗剤

- ① やわらかいスポンジや歯ブラシに浴室用中性洗剤をつけて汚れをこすり落とします。
- ② きれいな水で洗剤をしっかりと洗い流し、かげ干しか、乾いた布で乾拭きしてください。

ノズル

月に
一度の
お掃除



歯ブラシ

ノズルの表面や穴に付着した汚れを、歯ブラシなどで取り除いてください。

注意



ノズルは定期的にお手入れすること
ノズルが詰まってシャワーの出が悪く
なります。

※お手入れしても直らない場合は、ノズルの交換が必要です。

🔴 確認しましょう

! 安全上の注意

✖ ご使用の前に

🔴 使いましょう

🔴 お手入れしましょう

? 困ったときには

🔍 お手入れしましょう

本体およびソフトパッドの洗浄のしかた

中性洗剤をうすめてスポンジかやわらかい布に含ませ汚れをとったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか、乾いた布で乾拭きしてください。

※こまめにお手入れをしてください。

※十分なお手入れをしていますが、使用環境によりカビが発生する場合があります。

消毒をおこなう場合はアルコールを使用してください。

部品ごとのお手入れは下記の手順に従ってください。

ソフトパッドのお手入れ

座面ソフトパッド・背もたれソフトパッドは、本体から取り外して中性洗剤で洗った後、両面をすすぎ、かげ干ししてください。

スライド脚のお手入れ

短管のパイプ穴に付着した石鹸カスを歯ブラシで取り除いてください。

短管を外したり、スライドさせながらおこなうとより効果的です。

定期的に汚れを落とし、プッシュボタンが作動するか確認してください。

脚ゴムの裏側のお手入れ

汚れやすいので、歯ブラシなどで取り除いてください。

ソフトパッドを取り外しましょう

座面ソフトパッド・背もたれソフトパッドの取り外し

座面・背もたれの裏面からソフトパッドの突起を押すと、取り外すことができます。

注意



ソフトパッド端部を持って無理やりはがすなど、上記方法以外での取り外しはしないこと

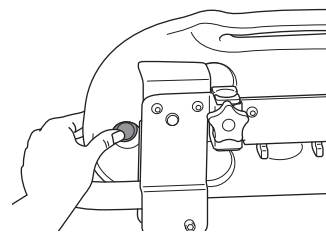
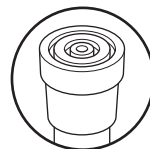
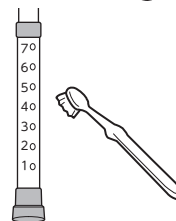
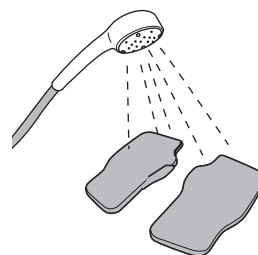
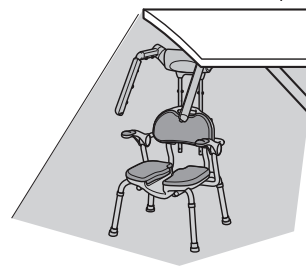
製品の破損の原因になります。



座面ソフトパッド・背もたれソフトパッドの取り付け

P. 8 「座面・背もたれのソフトパッドを取り付けましょう」を参照してください。

座面のプラスチック部分に水が入ってしまった場合は P.20 へ



確認しましょう

安全上の注意

使用前の

使いまし

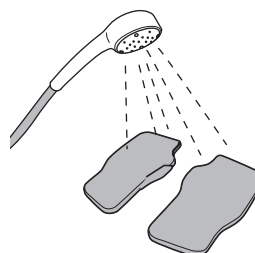
お手入れ

困った

カビの発生予防のしかた

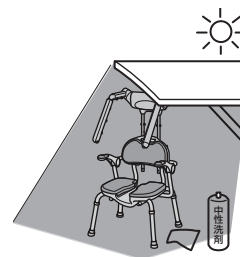
1. 使用後、製品に熱いお湯をかける(カビの栄養素を洗い流す)

ご使用になった製品に熱めのお湯(40～60℃くらい)をかけ、湯あかなどのカビの栄養素を洗い流します。
※やけどには十分にお気をつけください。



2. 冷たい水をかける(温度を下げる)

次に、冷たい水をかけて、熱気がこもらないように冷やします。



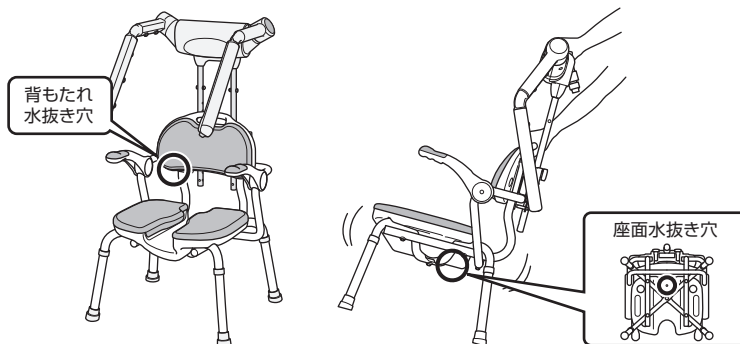
3. 水気を取り乾燥させる(湿度を下げる)

最後に製品の水気を取り、直射日光をさけて風通しのよい場所で乾燥させます。

座面と背もたれのプラスチック部に水が入った場合の水抜き

下図の位置に水抜き穴があります。

※水が抜けにくいときは、製品を傾け、かるく揺らして水を抜いてください。



保管のしかた

★長期間保管する場合は、以下の手順で行ってください。

保管場所【○】：涼しく、直射日光の当たらない屋内

保管場所【×】：高温・多湿な場所や、直射日光の当たる場所や屋外

※劣化や変色のおそれがあります。

- ①直射日光の当たらない風通しの良い場所で十分乾燥させるか、乾いた布で乾拭きしてください。
- ②ホコリなどによってノズルが詰まるのを防ぐため、ビニール袋を温浴ユニットに被せてください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

🔧 お手入れしましょう

シャワースイスに取り付けたまま保管する場合

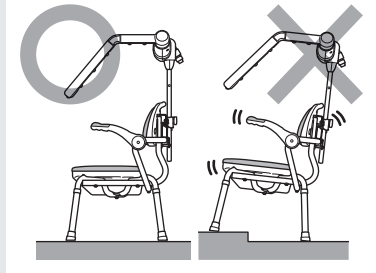
収納時の高さ（最低高さ）まで温浴ユニットを下げます。

注意



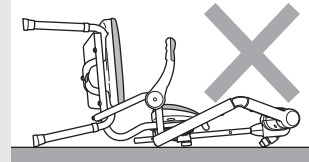
温浴ユニットを最低高さ（収納高さ）まで下げること

立てて置く場合、平坦で安定する場所に置くこと



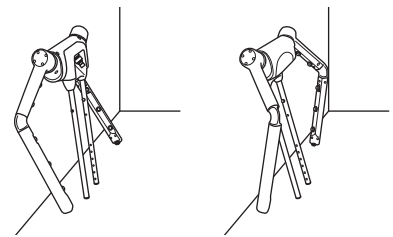
温浴ユニットを接続させたまま横にして置かないこと

本体が転倒・変形するおそれがあります。



温浴ユニットを取り外して保管する場合

- ・横にして置くとき…本体や温浴ユニットの上に重たいものをのせたりしないこと
- ・温浴ユニットを立てかけて置くとき…右図の向きで壁に立てかけること



注意

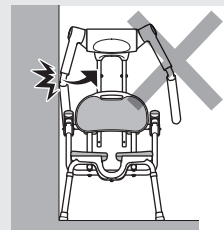


温浴ユニットを逆さに壁にもたれ掛けて保管しないこと

温浴ユニットが変形するおそれがあります。

シャワーアームに無理な力を加えた状態で、長時間放置しないこと

アームが変形したり、破損の原因となります。



落としたり、放り投げたりして強い衝撃を加えないこと

本体が破損するおそれがあります。

確認しましょう

！安全上の注意

✕ご使用前に

♡使いましょう

🔧お手入れしましょう

？困ったときには

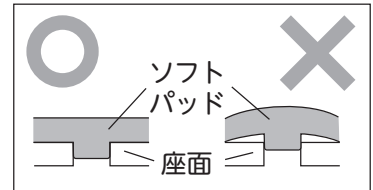
点検のしかた

安全に長くお使いいただくために、必ず点検やメンテナンスを行ってください。

お手入れして取り付けした後や、調節の後、下図の点検を行ってからご使用ください。
使用前に水平な場所に置いた状態で、ガタつきがないか確認してください。
また、各部に変形や破損などの異常がないか点検してください。

ノズルが目詰まりしていないか、破損していないか、確認すること

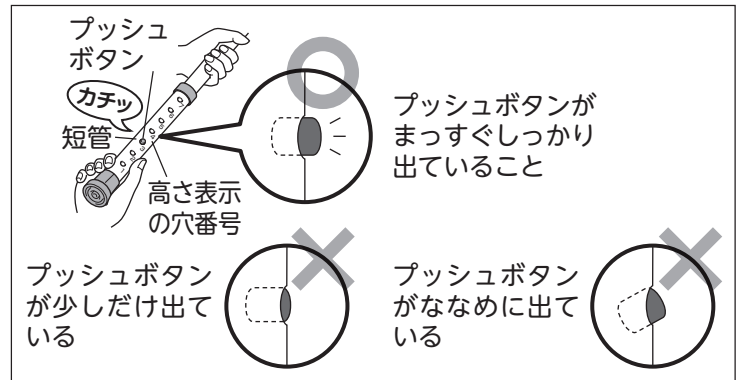
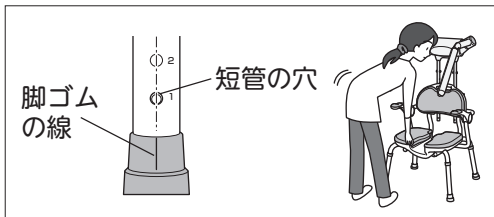
ソフトパッドをしっかり固定すること



4本の脚部をすべて同じ高さに設定すること

脚ゴムが短管にしっかりついているか確認すること（位置があっているか、最後まで差し込まれているか、ガタつきがないか確認）

高さ調節用のプッシュボタンが完全に飛び出して固定されていることを確認すること



確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

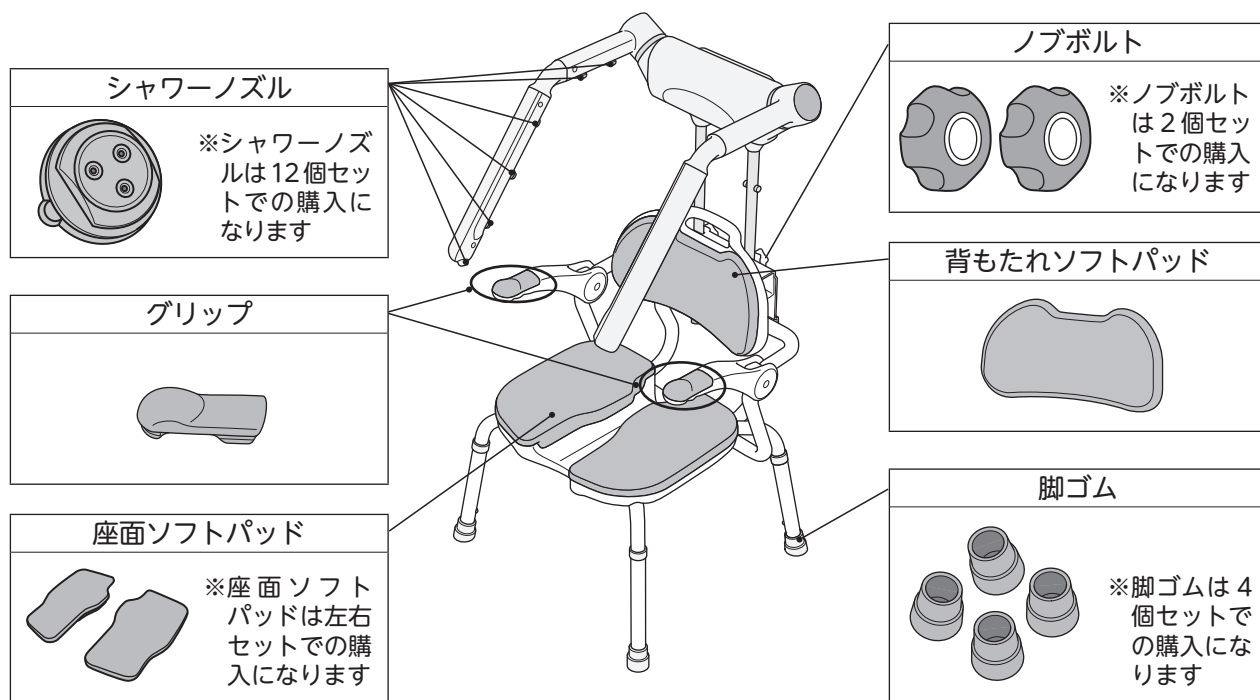
💧お手入れしましょう

？困ったときには

🔧 お手入れしましょう

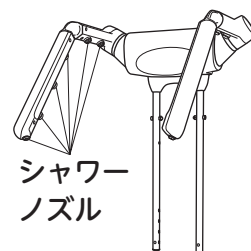
交換部品

シャワーノズル・ノブボルト・グリップ・背もたれソフトパッド・座面ソフトパッド・脚ゴムは消耗品ですので、汚れたり、破損した場合はお買い求めになった販売店にお問い合わせの上ご購入し、交換してください。

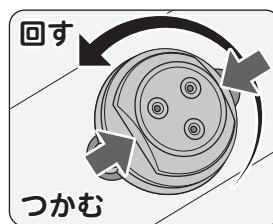


ノズルの交換のしかた

シャワーノズルは交換部品です。目詰まりしたり、破損している場合は交換が必要です。お買い求めになった販売店にお問い合わせの上、交換部品を購入し交換してください。



- ① ノズルの切欠き2面をスパナ(12mm)でつかんで左に回すと外れます。パッキンが残っている場合はパッキンも剥がしてください。
- ② 新しいノズルを挿入し、右に回してねじ込みます。パッキンがねじれないように注意して作業してください。
- ③ 交換後に水漏れがないか確認してください。



準備するもの

スパナ
(12mm)



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましゅう

お手入れしましゅう

困ったときには

ソフトパッドの交換のしかた

P. 8 「座面・背もたれのソフトパッドを取り付けましょう」を参照してください。

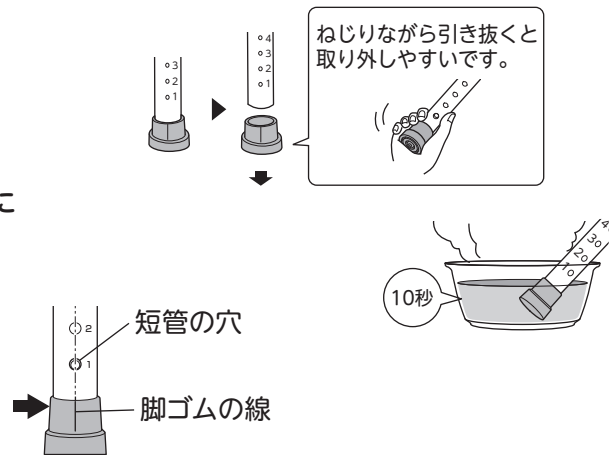
脚ゴムの交換のしかた

脚ゴムの取り外し

交換する脚ゴムを引き抜いてください。
脚ゴムが取り外しにくい場合は、約 60℃のお湯に
10 秒程度浸けると取り外しやすくなります。
(※やけどには十分にお気をつけください)

脚ゴムの取り付け

脚ゴムの線と短管の穴を一直線上に合わせ、
脚ゴムを差し込んでください。



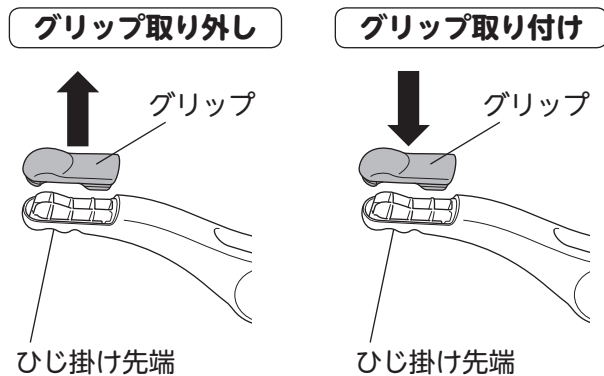
グリップの交換のしかた

グリップ取り外し

グリップとひじ掛けの境目に細い棒などを
差し入れ、引き抜いてください。

グリップ取り付け

グリップとひじ掛けの位置を合わせて押し
込んでください。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

? 困ったときには

保証とアフターサービス

商品のご購入に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ
商品の仕様などに関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき 万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

部品供給、また修理対応期間はメーカー製品廃番後3年となります。

ただし、期間内でも破損箇所によっては、部品供給、または修理できないケースがございますのでご了承ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業、作業員の出張にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社

フリーダイヤル

お客様相談室 ☎0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の

月～金 9:00～17:00

(12:00～13:00 は除く)

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

? 困ったときには

故障かな?と思ったら

修理などを依頼される前に、本書をよくお読みの上、次の点をお調べください。

	現象	原因	処理方法		
温浴ユニット	シャワーの勢いが弱い	ノズルが目詰まりしている	ノズルを掃除してください。	P.18	
		給湯器の能力が不足している	浴室以外の場所で、できるだけお湯を使わないようにしてください。		
		ホース接続部から水が漏れている	ホースの再接続が必要です。再接続しても直らない場合は使用を中止し、販売店またはお客様相談室(巻末)へ連絡してください。	P. 9 ~10 P.27	
	シャワーの流線が乱れる	・ノズルが目詰まりしている ・ノズルに汚れが付着している	ノズルを掃除してください。	P.18	
	水が漏れる	・ホース接続部から水が漏れている ・ホースやノズルが破損している	ホースの再接続が必要です。破損している場合は部品の交換が必要です。ただちに使用を中止し、販売店またはお客様相談室(巻末)へ連絡してください。	P. 9 ~10 P.27	
	・お湯が出ない(水になる) ・お湯の量の変動する	水栓からの吐水量が少なく、給湯器が着火していない	水栓からの吐水量を多くしてください。		
		給湯器の設定温度が低い	給湯器の設定温度を、使用する温度より少し高めに設定してください。		
		給湯の能力が不足している	浴室以外の場所で、できるだけお湯を使わないようにしてください。		
		ノズルが目詰まりしている	ノズルを掃除してください。	P.18	
	断水している		断水していないか確認してください。		
		・水栓を止めてもシャワーアームのノズルから水が滴下する ・シャワーホースを温浴ユニットから外してもシャワーホースから水が滴下する	いつまでも止まらない場合：水栓の止水が劣化している しばらくして止まる場合：シャワーアームの中の残水が抜けている	おすまいの地域の水道工業者に連絡してください。 水が止まるまで浴室内に置いてください。	
	・シャワーアームが動かしにくい ・シャワーアームが固定しにくい	部品が破損している	破損している場合はただちに使用を中止し、販売店またはお客様相談室(巻末)へ連絡してください。	P.27	
	温浴ユニットの高さが調節できない	ノブボルトがしまっている	ノブボルトをゆるめてください。		
		高さ調節用つまみを操作していない	高さ調節用つまみを内側に寄せ、スライドパイプの穴からピンを抜いてください。	P.13	
		スライドパイプとユニット接続部の隙間に汚れが付着している	スライドパイプを取り外して清掃してください。	P.18	
	温浴ユニットがガタつく	ノブボルトがゆるんでいる	ノブボルトをしめてスライドパイプを固定してください。	P.13	
	・カチットジョイントが入らない ・カチットジョイントが固定されない	Oリングパッキン(黒い円状のゴム)がズれている	Oリングパッキン(黒い円状のゴム)を戻してください。		
		部品が破損している	修理が必要です。販売店またはお客様相談室(巻末)へ連絡してください。	P.27	
	接続部	ユニット接続部がガタつく	ノブボルトがゆるんでいる	ノブボルトのしめ直しが必要です。販売店またはお客様相談室(巻末)へ連絡してください。	P.10 ~11 P.27

確認しましょう

安全上のご注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

